

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年2月18日(2022.2.18)

【公開番号】特開2020-96698(P2020-96698A)

【公開日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2020-025

【出願番号】特願2018-235825(P2018-235825)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 5 1

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月9日(2022.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行う遊技機であって、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

前記有利状態の終了に関連して遊技者に対して注意喚起を促す特定表示を行うことが可能な特定表示手段と、

異常が発生したときに異常状態である旨の異常表示を行うことが可能な異常表示手段とを備え、

前記異常表示手段は、

30

前記特定表示が行われている場合において異常が発生したとき、前記特定表示の視認性が低くなるように前記異常表示を行い、

前記異常状態が解除されたとき、前記異常表示を終了して前記特定表示の視認性を前記異常表示が行われる前の状態に戻す、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

40

上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

遊技を行う遊技機であって、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

前記有利状態の終了に関連して遊技者に対して注意喚起を促す特定表示を行うことが可能な特定表示手段と、

異常が発生したときに異常状態である旨の異常表示を行うことが可能な異常表示手段とを備え、

前記異常表示手段は、

前記特定表示が行われている場合において異常が発生したとき、前記特定表示の視認性が低くなるように前記異常表示を行い、

50

前記異常状態が解除されたとき、前記異常表示を終了して前記特定表示の視認性を前記異常表示が行われる前の状態に戻す。

(1) 上記目的を達成するため、本発明の他の遊技機は、遊技を行う遊技機（例えば、スロットマシン1、パチンコ遊技機）であって、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、スロットマシン1であればボーナス、A T、C Z、パチンコ遊技機であれば大当たり遊技状態、小当たり遊技状態）に制御可能な有利状態制御手段（例えば、メイン制御部41がボーナスやA TやC Zに制御する処理、パチンコ遊技機のメイン制御部が大当たり遊技状態や小当たり遊技状態に制御する処理）と、前記有利状態の終了に関連して遊技者に対して注意喚起を促す特定表示（例えば、注意喚起表示）を行うことが可能な特定表示手段（例えば、サブ制御部91が注意喚起表示を行う処理）と、

異常が発生したときに異常状態（例えば、エラー状態、特殊状態）である旨の異常表示（例えば、エラー表示）を行うことが可能な異常表示手段（例えば、サブ制御部91がエラー表示を行う処理）とを備え、

前記異常表示手段は、前記特定表示が行われている場合において異常が発生したときに、前記特定表示よりも優先して前記異常表示を行い（例えば、サブ制御部91がエラー表示をリザルト報知や注意喚起表示やR T演出の選択画面の表示よりも優先表示し）、前記特定表示手段は、前記特定表示よりも優先して前記異常表示が行われている場合において前記異常状態が解除されたときに、遊技者が視認可能な表示態様で前記特定表示を再度行う（例えば、サブ制御部91がエラー表示をリザルト報知や注意喚起表示よりも優先表示している場合においてエラーが解除されてエラー表示を終了したときに遊技者が視認可能となるように注意喚起表示を再度行う）。

10

20

30

40

50